

日本農業気象学会 2023 年度総会 議事要旨

日時：2023 年 3 月 17 日(金)12:00～14:30

場所：全国大会

会長挨拶 平野会長

議長選出 伊藤大雄（東北支部）選出

1. 2022 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

- 1.1.1 役員等の交代 → 資料に基づき報告された。
 - 1.1.2 会員数の動向 → 資料に基づき報告された。
 - 1.1.3 研究集会・会議等の開催 → 資料に基づき報告された。
 - 1.1.4 各種事業の推進 → 資料に基づき報告された。
 - 1.1.5 編集委員会活動報告 → 資料に基づき報告された。
 - 1.1.6 今年度の学会賞の選考経過 → 資料に基づき報告された。
 - 1.1.7 永年功労会員表彰の選考経過 → 資料に基づき報告された。
 - 1.1.8 フェロー称号授与 → 資料に基づき報告された。
 - 1.1.9 支部活動報告 → 資料に基づき報告された。
 - 1.1.10 研究部会活動報告 → 資料に基づき報告された。
- 1.2 規程・細則の改正 → 資料に基づき報告された。

2. 審議事項

- 2.1 2022 年度一般会計決算報告（案） → 原案どおり承認された。
- 2.2 会計監査報告（案） → 原案どおり承認された。
 - －2022 年度一般会計決算報告（案）・会計監査報告（案）の承認－
- 2.3 2023-2024 年度役員等選出（案） → 原案どおり承認された。
- 2.4 名誉会員（案） → 原案どおり承認された。
 - －会長、副会長および名誉委員（案）の承認－
- 2.5 2023 年度事業計画（案） → 原案どおり承認された。
 - －2023 年度事業計画（案）の承認－
- 2.6 2023 年度一般会計予算（案） → 原案どおり承認された。
 - －2023 年度一般会計予算（案）の承認－
- 2.7 会則の改正（案） → 原案どおり承認された。
 - －会則の改正（案）の承認－
- 2.8 貸借対照表における「終身会費制度等準備金」の新設（案） → 原案どおり承認された。
 - －貸借対照表における「終身会員制度等準備金」の新設（案）の承認－

議長解任

閉 会

資料修正

- 1.1.9 支部活動報告の近畿支部の「事務局もしくは連絡先」の2行目を「大阪府立大学生命環境科学研究科」から「大阪公立大学農学研究科」に修正。
- 2.5 支部活動予定（案）の近畿支部の「事務局もしくは連絡先」の2行目を「大阪府立大学生命環境科学研究科」から「大阪公立大学農学研究科」に修正。

日本農業気象学会 2023 年度 総会資料

日時：2023 年 3 月 17 日（金）12 時 00 分～14 時 30 分

場所：山口 KDDI 維新ホール メインホール

山口市小郡令和一丁目 1-1

（対面を主としたハイブリッド開催）

日本農業気象学会 2023 年度総会 議事次第

開 会
会長挨拶
議長選出

1. 2022 年度活動報告	
1.1 事務・事業報告	
1.1.1 役員等の交代 2
1.1.2 会員数の動向 2
1.1.3 研究集会・会議等の開催 2
1.1.4 各種事業の推進 2
1.1.5 編集委員会活動報告 3
1.1.6 今年度の学会賞の選考経過 4
1.1.7 永年功労会員表彰の選考経過 5
1.1.8 フェロー称号授与 5
1.1.9 支部活動報告 6
1.1.10 研究部会活動報告 7
1.2 規程・細則の改正 8
2. 審議事項	
2.1 2022 年度一般会計決算報告（案） 11
2.2 会計監査報告（案） 13
— 2022 年度一般会計決算報告（案）・会計監査報告（案）の承認 —	
2.3 2023-2024 年度役員等選出（案） 14
2.4 名誉会員（案） 14
— 会長，副会長および名誉会員（案）の承認 —	
2.5 2023 年度事業計画（案） 14
— 2023 年度事業計画（案）の承認 —	
2.6 2023 年度一般会計予算（案） 18
— 2023 年度一般会計予算（案）の承認 —	
2.7 会則の改正（案） 19
— 会則の改正（案）の承認 —	
2.8 貸借対照表における「終身会費制度等準備金」の新設（案） 21
— 貸借対照表における「終身会費制度等準備金」の新設（案）の承認 —	

議長解任

閉 会

1. 2022 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代

- 1) 学会賞審査委員会委員長に互選で谷晃会員が就任

1.1.2 会員数の動向（2022 年 12 月 31 日現在）

正会員	383 (内 海外 4)	(-18) [-3]
学生・ポスドク会員	45 (内 海外 1)	(-1)
シルバー会員	23 (内 海外 0)	(+3)
購読会員	65 (内 海外 0)	(+22)
賛助会員	18 (内 海外 0)	(0)
名誉会員	9 (内 海外 0)	(0) [+3]
海外特別会員	70	(0)
合計	613 (内 海外 75)	(+6)

() 内は、2021 年 12 月 31 日時点と比較した増減数

[] 内は、名誉会員に関する名簿の記載ミスを修正したことに伴う増減

1.1.3 研究集会・会議等の開催

- 1) 2022 年全国大会および International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2022 : 2022 年 3 月 22 日～24 日にオンラインにて開催（講演要旨は 3 月 17 日～31 日ウェブで公開）
- 2) 2022 年度総会：2022 年 3 月 23 日にオンラインにて開催
- 3) 2022 年度理事会：2022 年 4 月 19 日、6 月 13 日、9 月 27 日、12 月 12 日にオンラインにて開催

1.1.4 各種事業の推進

1) 学会活動の活性化

- (1) 学会ホームページにより、情報提供の充実を行った。
- (2) 会員サービスとして、メーリングリストを利用した事務連絡等を実施（農業気象学会メール広報）
- (3) 次世代活性化担当理事を中心とし、以下の活動を展開した。
 - ・2023 年大会での 80 周年記念企画の実施
- (4) 会長と編集担当理事からなるワーキンググループにおいて、学会財政の健全化を目的に、科研費（国際情報発信強化）に応募した。
- (5) 日本農業気象学会「持続可能な組織・運営」に向けた支部活動検討（支部活性化）ワーキンググループにおいて、支部活動の活性化に関する方策が提案された。

2) 学会誌等の出版

- (1) 学術誌「Journal of Agricultural Meteorology」：第 78 巻 1 号～第 78 巻 4 号
- (2) 学術誌「生物と気象」：第 22 巻 1 号～第 22 巻 4 号
- 3) 日本農業気象学会賞の審査および授与、表彰
- 4) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 5) 日本農学賞に平野高司会員を推薦
- 6) 日本農業工学会賞に富士原和宏会員を推薦、日本農業工学会フェローに大上博基会員、脇山恭行会員、広田知良会員を推薦（いずれも受賞）

- 7) 日本学術振興会賞に飯泉仁之直会員を推薦
- 8) 支部大会等の推進（別表「支部活動報告」の通り）
- 9) 「研究部会」, 「若手研究者の会」等の推進（別表「研究部会活動報告」の通り）
- 10) 日本農学会, 日本農業工学会, 農業環境工学系学会連盟, 日本地球惑星科学連合の活動を推進, 日本学術会議関連の活動に協力, 日本学術会議ニュースの学会員への配信
 - (1) 関連学協会委員
 - 日本農学会 大政謙次（副会長）, 平野高司（評議員）, 濱寄孝弘（常任委員）
 - 日本農業工学会 真木太一（名誉顧問）, 大政謙次（名誉顧問）, 平野高司（理事）, 彦坂晶子（正会員代議員）, 松田 怜（正会員代議員）, 吉本真由美（国際会員代議員）
 - 農業環境工学系学会連盟 平野高司（委員）, 宮田 明（委員）
 - 日本地球惑星科学連合 平野高司（学会長会議員）, 岩田拓記（窓口委員）
 - 地理関連学会連合 西森基貴
- 11) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
 - (1) 農研機構農業環境研究部門：第 32 回気象環境研究会（2022 年 3 月 14 日, オンライン）を後援
 - (2) 生態工学会：2022 生態工学会年次大会（2022 年 6 月 24 日～25 日, 東京農工大府中キャンパス）を協賛
 - (3) 日本農学会：「持続可能な発展のための国際基礎科学年(IYBSSD2022)」(2022 年 6 月 30～2023 年 6 月 30 日) を協賛
 - (4) 日本施設園芸協会：施設園芸・植物工場(GPEC)2022 (2022 年 2 月 20 日～22 日, 東京ビックサイト) を協賛
 - (5) 日本流体力学会：日本流体力学会年会 2022 (2022 年 9 月 27 日～29 日, 京都大学吉田キャンパス) を協賛
 - (6) 日本学術会議評議会会員農業生産環境工学分會会：日本学術会議公開シンポジウム (2022 年 11 月 15 日, オンライン) を後援
 - (7) 第 27 回風工学シンポジウム運営委員会：第 27 回「風工学シンポジウム」(2022 年 12 月 5 日～7 日, 土木学会・講堂) を協賛
- 12) 2023 年全国大会（山口 KDDI 維新ホール）の企画
- 13) 2024 年全国大会（東北支部）の企画

1.1.5 編集委員会活動報告

1) 編集委員会および編集理事会の開催

英文誌 編集委員会

第 1 回 2022 年 5 月 18 日, オンライン会議

第 2 回 2022 年 11 月 28 日, オンライン会議

英文誌 編集理事会

第 1 回 2022 年 3 月 7 日, オンライン会議

第 2 回 2022 年 5 月 18 日, オンライン会議

第 3 回 2022 年 8 月 29 日, オンライン会議

第 4 回 2022 年 11 月 28 日, オンライン会議

和文誌 編集委員会

email 等による審議を適宜実施

2) 「Journal of Agricultural Meteorology」, 「生物と気象」の発行

「Journal of Agricultural Meteorology」78 巻 1~4 号

Full paper 13 編 (-3), Short paper 2 編 (-1), Review 0 編 (-5), Research note 3 編 (+3)

「生物と気象」22 巻 1~4 号

研究論文 1 編 (-1), 短報 1 編 (-1), 資料 1 編 (-1), 総説 2 編 (+2), 記事 11 編 (-2)

* 括弧内は 2021 年度と比較した増減数

3) その他

- (1) 令和 4 年度の研究成果公開促進費（国際情報発信強化）は不採択であった。
- (2) 令和 5 年度の研究成果公開促進費（国際情報発信強化）に「Journal of Agricultural Meteorology 誌の質的強化と更なる国際発信強化、持続的な出版のための取組」という課題名で再度応募した。
- (3) 公開促進費の応募に関連して、外部資金の取り扱いに関する「日本農業気象学会外部資金会計規程」を制定した（会計担当理事に依頼，2022 年 9 月 27 日理事会にて承認）。
- (4) 編集コストの削減を狙い「生物と気象」の一般記事（種別 A~I）について、投稿用のテンプレートを整備し WEB 上で公開するとともに、和文誌編集委員が組版作業の一部を担当した。
- (5) JAM に掲載されている論文について、ロイヤリティ無の条件で有料雑誌コンテンツサービスである EBSCO へ登録を進めることとなった。
- (6) 2021 年分の JAM の Impact factor は 1.375 であった（2020 年分，1.234）。

1.1.6 今年度の学会賞の選考経過

2022 年 6 月 27 日，会員 ML およびホームページ上で 2022 年度日本農業気象学会賞の候補者および候補論文の募集を開始するとともに推薦を依頼した。2022 年 9 月 2 日に推薦を締め切り，正会員および編集委員会から推薦があった候補者および候補論文を学会賞審査委員会で審査した。2022 年 11 月 30 日付で，谷晃学会賞審査委員長より学会長あてに審査経過書と審査書が提出され，2022 年 12 月 7 日までの期間に理事会内で審査経過書と審査書の回覧と意見等の収集が行われた。2022 年 12 月 12 日に開催の第 4 回理事会で審議した結果，下記の会員および論文の受賞が決定した（賞種別に 50 音順）。

学術賞 石郷岡康史会員

「気候と大気の変化が日本のコメ生産に及ぼす影響の解明と予測」

学術賞 松田怜会員

「植物を利用した有用タンパク質生産のための環境調節に関する基礎的研究」

学術賞 丸山篤志会員

「気候変動適応の基礎となる群落微気象と作物の気象応答に関する実験的・理論的研究」

普及賞 西森基貴会員

「日本の農耕地における温暖化モニタリングと農業分野への影響評価のための気候シナリオの作成および普及」

論文賞 梶浦雅子会員，常田岳志会員の共著論文

「Quantifying bubbling emission (ebullition) of methane from a rice paddy using high-time-resolution concentration data obtained during a closed-chamber measurement. Journal of Agricultural Meteorology, 77 巻 4 号, 245~252 ページ (2021 年)」

奨励賞 木村建介会員

「温暖化進行に伴うチャ圃場での凍霜害リスクの時空間変動の可視化と解析」

奨励賞 村上貴一会員

「寒冷環境における環境評価の高度化と作物光合成ダイナミクスに関する研究」

1.1.7 永年功労会員表彰の選考経過

2022 年 6 月 22 日，会員 ML およびホームページ上で募集を開始するとともに，各支部（支部長および支部幹事宛）に永年功労会員候補者の推薦を依頼した。2022 年 8 月 26 日に推薦を締め切り，各支部から推薦のあった候補者について，表彰理事より 2022 年 10 月 5 日に理事会 ML 宛で審議と事前意見提出が依頼され，2022 年 12 月 12 日に開催の第 4 回理事会に「永年功労会員表彰審議における事前意見の集約」が提出された。これをもとに第 4 回理事会で永年功労会員候補者の表彰可否を審議した結果，下記の 2 名の会員の受賞が決定した（50 音順）。

関東甲信越支部推薦：鳥谷均会員

東北支部推薦：渡邊明会員

1.1.8 フェロー称号授与

フェロー授与規程 3(1)による対象者：鳥谷均会員，渡邊明会員

フェロー授与規程 3(2)による 2022 年度授与対象者：西森基貴会員（2022 年度普及賞）

1.1.9 支部活動報告

支部名・支部長	事務局もしくは連絡先	研究会・講演会・出版物	会員(2021年12月31日現在)
北海道支部 支部長：小南靖弘	〒060-8559 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院 農学研究院地域環境学分野 岡田啓嗣 jojo@env.agr.hokudai.ac.jp Tel: 011-706-2569	<ul style="list-style-type: none"> 北海道支部総会(2022年12月12日～23日, web 審議) 北海道支部大会(研究発表:8題 講演会:3題):リモート開催, 2022年12月12日～23日 「北海道の農業気象」第73号発行 	正会員:36 学生・ポスドク会員:4 シルバー会員:5 購読会員:3 賛助会員:2 名誉会員:0 合計:50
東北支部 支部長：伊藤大雄	〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平4 農研機構東北農業研究センター 中嶋美幸 agmet_tohoku@ml.affrc.go.jp Tel: 019-643-3462	<ul style="list-style-type: none"> 東北支部大会(研究発表6題, 特別講演1題, 総会), 2022年11月20日, 秋田県生涯学習センター, 参加者16名 「東北の農業気象」第66号発行 	正会員:41 学生・ポスドク会員:4 シルバー会員:4 購読会員:5 賛助会員:0 名誉会員:0 合計:54
関東甲信越支部 支部長：松岡延浩	〒305-8506 つくば市小野川16-2 国立環境研究所 気候変動適応センター 岡田将誌 office@agrmet-kanto.jp Tel: 029-850-2721	<ul style="list-style-type: none"> 支部総会:2022年11月21日～12月12日・web 開催 支部例会(研究発表22件):2022年11月25日・対面(明治大学駿河台キャンパス)とオンライン(Zoom)によるハイブリット形式, 参加者50名 	正会員:176 学生・ポスドク会員:22 シルバー会員:4 購読会員:18 賛助会員:13 名誉会員:5 合計:238
東海・北陸支部 支部長：谷 晃	〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学食品栄養科学部 環境生命科学科植物環境研究室 atani@u-shizuoka-ken.ac.jp Tel: 054-264-5739	<ul style="list-style-type: none"> 支部合同大会(日本農業気象学会東海・北陸支部, 生態工学会中部支部):研究発表, 総会:2022年12月7日にZoomミーティングにてオンライン開催 	正会員:35 学生・ポスドク会員:4 シルバー会員:0 購読会員:4 賛助会員:0 名誉会員:0 合計:43
近畿支部 支部長：青野靖之	〒599-8531 堺市中区学園町1-1 大阪府立大学生命環境科学研究科 遠藤良輔 endo_r@omu.ac.jp Tel: 072-254-9668	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会(研究発表2件, 日本農業気象学会近畿支部と生態工学会関西支部合同シンポジウム講演4件):2022年12月2日, オンライン(Zoom)にて開催, 参加者36名 支部総会:2022年12月2日付で電子メールとそれに添付した総会資料を以て発議し, 必要事項を諮った。 「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」, 第13号を電子版で発行 	正会員:28 学生・ポスドク会員:4 シルバー会員:3 購読会員:4 賛助会員:1 名誉会員:0 合計:40
中国・四国支部 支部長：荊木康臣	〒753-8515 山口市吉田1677-1 山口大学大学院創成科学研究科 佐合悠貴 sago@yamaguchi-u.ac.jp Tel: 083-933-5828	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会(研究発表11件, シンポジウム, 総会):2022年12月1～2日, オンライン(Zoom)にて開催 「中国・四国の農業気象」第35号発行 	正会員:48 学生・ポスドク会員:6 シルバー会員:0 購読会員:4 賛助会員:1 名誉会員:0 合計:59
九州支部 支部長：神田英司	〒819-0395 福岡市西区元岡744 ウェスト5号館 九州大学大学院農学研究院環境農学部 安武大輔 yasutake@bpes.kyushu-u.ac.jp Tel: 092-802-4627	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会(研究発表, セミナー, 座談会, 総会):2022年11月24日～25日, 佐賀県農業試験研究センターで開催 「九州の農業気象第II輯」第31号発行 	正会員:37 学生・ポスドク会員:2 シルバー会員:4 購読会員:5 賛助会員:1 名誉会員:1 合計:50

1. 1. 10 研究部会活動報告

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：細井文樹 設立：2000年12月	〒370-0033 群馬県高崎市中大類町 54 高崎健康福祉大学 農学部 清水 庸 飯泉仁之直（農研機構 農業環境研究部門） Tel: 027-388-8390 E-mail: shimizu-y@takasaki-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業気象学会 2023 年全国大会（山口 KDDI 維新ホール）において、OS「気候変動の適応・緩和や持続可能な食料・水に資する農業気象学研究」を協賛予定 ・リモートセンシングに関わるセミナーの実施や協賛 ・2022 年度で部会を解散することとした。
園芸工学研究部会 部会長：嶋津光鑑 設立：2006年6月	〒370-0033 高崎市中大類町 54 番地 高崎健康福祉大学 農学部生物生産学科 石神靖弘 TEL: 027-388-8390, FAX:027-388-8393 (代) Email : ishigami@takasaki-u.ac.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業気象学会 2022 年全国大会において、オーガナイズドセッション「複雑な生育環境の園芸施設における光合成をメインにした生理反応の解析」を主催した。
若手研究者の会	〒666-8502 京都府京都市左京区北白川追分町 京都大学 農学研究科 坂部綾香 TEL: 075-753-6086 / FAX: 075-753-6088 E-mail: sakabe.ayaka.4a@kyoto-u.ac.jp 金谷真希（農研機構 北海道農業研究センター） 横山岳（九州大学 農学研究科）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業気象学会2022年全国大会（オンライン）においては「伝わるデザイン：一石二鳥のプレゼン作成術」と題したセミナーを実施した。 ・ホームページの管理・運営を継続した（http://www.agrmet.jp/wakate/）。 ・メーリングリストの管理・運営を継続した。

1.2 規程・細則の改正

1) 会則の改訂に伴う関連規程の変更

- ・評議員制を廃止した場合、会長、副会長、および学会賞審査委員選挙における有権者が大幅に減少するため、新たに選出された次期支部長および支部選出理事に、選挙実施期の支部長および支部選出理事も有権者に加える（役員選出規程、日本農業気象学会賞規程、永年功労会員表彰規程）。
- ・学会賞等投票における有権者が支部長および理事となるため、両者の人数比を考慮すれば投票結果はほぼ理事の投票結果を反映することになる。そこで、投票制度を廃止し、理事会での審議により受賞者を決定する（日本農業気象学会賞規程、永年功労会員表彰規程）。
- ・役員数および役員の業務量を削減するための対応策の一つとして、永年功労会員表彰審査委員会を廃止する（永年功労会員表彰審査委員会規程）。
- ・漢字の修正（へて→経て）。
- ・支部選出理事が任期中途で他支部に転じた場合、任期満了まで支部選出理事としての資格を有すること、後任の理事が選出された場合には会長指名理事に移行すること、を明文化。

役員選出規程の変更

変更前	変更後
<p>1. 会則第1章第4条2、第5章第13条に基づいて本規程を設ける。</p> <p>2. 選挙管理委員会を設ける。</p> <p>(1) 選挙管理委員は、庶務担当理事を含む正会員3名で構成され、理事会の議をへて会長が委嘱する。委員長は委員の互選により選出する。</p> <p>(2) 選挙管理委員は、会長（1名）、副会長（2名）、および改選となる学会賞審査委員（6名）の候補者選出の任にあたる。</p> <p>(3) 選挙管理委員の任期は、改選前年の夏期に開催される理事会から、改選当年度の総会までとする。</p> <p>3. 選挙管理委員会は次の手順で公示および選挙を行う。</p> <p>(1) 会長、副会長、学会賞審査委員は、<u>支部長、支部選出理事および支部選出評議員</u>を有権者とする選挙によって候補者を決定する。</p> <p>(2) 投票はまず会長候補について行い、会長候補者が決定した後、副会長および学会賞審査委員の各候補者について実施する。</p> <p>(3) 投票は無記名とし、有権者の過半数の投票があったときその選挙を有効とする。</p> <p>(4) この投票における上位得票者をもってそれぞれの候補者とし、総会の承認をへてそれぞれの役員を決定する。なお、会長にあっては最上位得票者が2名以上の場合、副会長および学会賞審査委員にあっては定員数にあたる最下位の得票者が2名以上の場合、最年</p>	<p>1. 会則第1章第4条2、第5章第13条に基づいて本規程を設ける。</p> <p>2. 選挙管理委員会を設ける。</p> <p>(1) 選挙管理委員は、庶務担当理事を含む正会員3名で構成され、理事会の議を経る会長が委嘱する。委員長は委員の互選により選出する。</p> <p>(2) 選挙管理委員は、会長（1名）、副会長（2名）、および改選となる学会賞審査委員（6名）の候補者選出の任にあたる。</p> <p>(3) 選挙管理委員の任期は、改選前年の夏期に開催される理事会から、改選当年度の総会までとする。</p> <p>3. 選挙管理委員会は次の手順で公示および選挙を行う。</p> <p>(1) 会長、副会長、学会賞審査委員は、<u>在任中および次期の支部長および支部選出理事</u>を有権者とする選挙によって候補者を決定する。</p> <p>(2) 投票はまず会長候補について行い、会長候補者が決定した後、副会長および学会賞審査委員の各候補者について実施する。</p> <p>(3) 投票は無記名とし、有権者の過半数の投票があったときその選挙を有効とする。</p> <p>(4) この投票における上位得票者をもってそれぞれの候補者とし、総会の承認を経るそれぞれの役員を決定する。なお、会長にあっては最上位得票者が2名以上の場合、副会長および学会賞審査委員にあっては定員数にあたる最下位の得票者が2名以上の場合、最年</p>

<p>長者をその候補者とする。</p> <p>4. 支部選出理事数および支部選出評議員数は、各支部に属する正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員の合計数による。支部選出理事の場合はこの合計数が100名につき1名、<u>支部選出評議員の場合は30名につき1名とする。</u>端数があるときは1名増とする。ただし、ここにいう会員数とは改選に最も近い5月31日現在の会員数とする。</p> <p>(2) 支部選出理事および支部選出評議員を選出する方法は各支部の規程による。</p> <p>5. 会長は理事会の議をへて、副会長および支部選出理事でない正会員の中から5名程度の会長指名理事を指名することが出来る。</p> <p>6. 支部選出理事<u>または支部選出評議員</u>が任期中途中で他支部に転じた場合でも、任期満了まで引続き理事<u>または評議員</u>の資格を有するものとする。ただし、当該支部は後任の理事を選出できるが、<u>後任の評議員はやむを得ない場合を除き選出できない。</u>任期は、その残任期間とする。</p> <p>(付則) 本規程は <u>2011年度</u>から適用する。</p>	<p>長者をその候補者とする。</p> <p>4. 支部選出理事数は、各支部に属する正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員の合計数による。支部選出理事はこの合計数が100名につき1名とし、端数があるときは1名増とする。ただし、ここにいう会員数とは改選に最も近い5月31日現在の会員数とする。</p> <p>(2) 支部選出理事を選出する方法は各支部の規程による。</p> <p>5. 会長は理事会の議を経て、副会長および支部選出理事でない正会員の中から5名程度の会長指名理事を指名することが出来る。</p> <p>6. 支部選出理事が任期途中で他支部に<u>転出した</u>場合、任期満了までは引続き<u>転出前の支部選出</u>理事の資格を有するものとする。当該支部は後任の理事を選出できる。ただし、<u>後任理事の任期は、前任理事の残任期間とする。後任の理事が選出された場合は、前任理事は会長指名理事とする。</u></p> <p>(付則) 本規程は <u>2022年度</u>から適用する。</p>
---	--

日本農業気象学会賞規程の改正

変更前	変更後
<p>6. 学会賞受賞者を次の手続きにより選考する。 (略)</p> <p>(8) 会長は<u>支部長、理事および評議員の投票</u>によって受賞者を決定する。</p> <p>7. 総会で授賞式を行う。</p> <p>8. 学術賞、普及賞受賞者は特別講演を行う。</p> <p>(付則) 本規程は <u>2014年度</u>から適用する。</p>	<p>6. 学会賞受賞者を次の手続きにより選考する。 (略)</p> <p>(8) 会長は<u>審査委員会の報告に基づき理事会での審議</u>により受賞者を決定する。</p> <p>7. 総会で授賞式を行う。</p> <p>8. 学術賞、普及賞受賞者は特別講演を行う。</p> <p>(付則) 本規程は <u>2022年度</u>から適用する。</p>

永年功労会員表彰規程の改正

変更前	変更後
<p>4. 被表彰者の選考は次の手続きによる。</p> <p>(1) 支部長は会員期間が原則として30年以上で、年齢満65歳以上の支部会員の中から候補者を選考し、会長に推薦する。</p> <p>(2) 支部長から推薦されなかった会員もしくは元会員で、該当者がいる場合には、総務理事が会長に推薦する。</p> <p>(3) 永年功労会員表彰候補者を審査するため、審査委員会を設ける。</p> <p>(4) 審査委員会は候補者の審査結果を会長に報告する。</p> <p>(5) 会長は<u>支部長、理事および評議員の投票</u>によって被表彰者を決定する。</p> <p>5. 総会で表彰式を行う。</p>	<p>4. 被表彰者の選考は次の手続きによる。</p> <p>(1) 支部長は会員期間が原則として30年以上で、年齢満65歳以上の支部会員の中から候補者を選考し、会長に推薦する。</p> <p>(2) 支部長から推薦されなかった会員もしくは元会員で、該当者がいる場合には、総務理事が会長に推薦する。 (削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(3) 会長は<u>支部長および総務理事からの推薦に基づき理事会での審議</u>により被表彰者を決定する。</p> <p>5. 総会で表彰式を行う。</p>

(付則) 本規程は 2017 年度から適用する。

(付則) 本規程は 2022 年度から適用する。

永年功労会員表彰審査委員会規程：廃止

2) 日本農業気象学会外部資金会計規程の制定

第1条 この規則は、本会の活動を行うにあたり、会費に依らず契約に基づき外部団体等から受け入れる補助金等（以下、「外部資金」とする）に係る会計業務に関して、会則第9章各条に定めのない事項を会則第1章第4条第2項に基づき規定する。

第2条 外部資金に係る会計については、当該補助金に関わる契約および規程を遵守して管理・執行する。

第3条 外部資金に係る会計は、会計担当理事が管理し、会計年度ごとに監査を受けなければならない。

第4条 外部資金に係る調達および契約に関する一般的事項は、東京大学会計規程第3章（契約）の各条および東京大学契約事務取扱規程を準用する。ただし、外部資金に係る個別の契約に別の定めがある場合には当該個別の契約が優先する。

2 前項に規定する東京大学会計規程第3章（契約）の各条の準用において、「国立大学法人東京大学」および「大学法人」は「日本農業気象学会」に、「総長」は「会長」に、「職員」は「会計担当理事」にそれぞれ読み替える。

3 第1項に規定する東京大学契約事務取扱規程の準用において、「国立大学法人東京大学」および「大学法人」は「日本農業気象学会」に、「財務部長」および「施設部長」は「会計担当理事」に、「職員」は「理事」に、「契約審査委員会」および「競争参加資格等審査委員会」は「理事会」に、「総長」は「会長」に、「教職員」は「理事」にそれぞれ読み替える。

(付則) 本規程は 2023 年度から適用する。

2. 審議事項

2.1 2022年度一般会計決算報告（案）

2022年度一般会計決算（案）

2022年12月31日現在

(単位: 円)

1. 収入			
科目	予算	決算	備考
学会費	4,435,500	4,451,640	
正会員	3,255,500	3,398,640	345件
学生・ポスドク会員	100,000	102,000	35件
シルバー会員	92,000	105,000	19件
賛助会員	448,000	510,000	17件
購読会員	540,000	336,000	42件
売上金	2,595,000	2,085,242	
掲載料・別刷・超過頁等	2,583,000	2,085,242	「JAM」「生物と気象」
バックナンバー等	12,000	0	
雑益費	124,367	272,102	
利息	367	216	
複写権料等	124,000	271,886	2021,2022年分
学会基金取崩収入	0	0	
単年度合計	7,154,867	6,808,984	
前年度繰越金	1,964,929		
合計	9,119,796		

2. 支出			
科目	予算	決算	備考
学会誌発行業務	4,834,000	4,050,322	「JAM」と「生物と気象」
印刷・製本・別刷り費	3,826,000	3,070,100	78-1,78-2,78-3,78-4,22-1,22-2,22-3,22-4
発送費	235,000	210,222	
編集費	660,000	660,000	農業気象J-stage、査読等
編集委員会経費	52,000	0	
J-stage査読システム	44,000	66,000	投稿審査システム負担金
トクホライ社 ファブロード	1,000	44,000	78-1,78-2,78-3,78-4
英文校閲費	16,000	0	
学会大会費	400,000	0	
全国大会運営費	400,000	0	
農業環境工学関連5学会合同大会運営費	0	0	
学会賞費	50,000	20,746	
記念品・交通費等	50,000	20,746	記念品
名誉会員表彰費	50,000	0	
会計業務委託費	1,431,000	1,401,710	
会員業務	422,000	405,482	会員管理 (@560 x 564)、発送等手数料
会計業務	264,000	264,000	月額@20,000x12
受付業務	198,000	198,000	月額@15,000x12
その他業務	547,000	534,228	理事会関係、連絡用紙・封筒作成等
ウェブサイト運営費	128,000	39,600	
学会ウェブサイト改訂費	44,000	0	
学会ウェブサイト維持費	20,000	19,800	
学会誌ウェブサイト作成費	44,000	0	
学会誌ウェブサイト維持費	20,000	19,800	
事務費	140,000	26,334	
理事会開催費	70,000	0	
総務理事経費	20,000	8,800	Zoom費
庶務理事経費	10,000	0	
会計理事経費	40,000	17,534	振込手数料等
部会・研究・渡航補助費	376,900	381,100	
支部補助費	326,900	331,100	単価700円
若手研究者の会補助費	50,000	50,000	横山氏
渡航費補助	0	0	コロナ禍のため延期
次世代活性化：アンケート実施費	0	0	コロナ禍のため中止
関係団体分担金	133,100	131,850	
日本地球惑星科学連合	10,000	10,000	団体会員会費
日本農学会費	58,100	56,850	分担金
日本農業工学会費	65,000	65,000	正会員会費他
国際農業工学会	0	0	世界大会2022協賛金納付終了
単年度支出	7,543,000	6,051,662	
予備費	226,000	0	
合計	7,769,000	6,051,662	

	予算	決算
単年度収入合計	7,154,867	6,808,984
単年度支出合計	7,769,000	6,051,662
単年度収支差異	-614,133	757,322
前年度繰越金	1,964,929	1,964,929
剰余金	1,350,796	2,722,251

2022年度次世代活性化基金決算（案）

2022年12月31日現在

(単位: 円)

1. 収入			
科目	予算	決算	備考
単年度合計	0	0	
前年度繰越	131,099	131,099	
合計	131,099	131,099	

2. 支出			
科目	予算	決算	備考
単年度支出	0	0	
予備費	131,099	131,099	
合計	131,099	131,099	

2022年度貸借対照表(案)

2022年12月31日現在

(単位: 円)

資産の部			負債の部		
科目		金額	科目		金額
普通預金	三井住友銀行	2,809,239	未払金	西村謄写堂	2,873,846
普通預金(無利子)	高知銀行	6,288,733		科学技術振興機構	66,000
振替貯金	ゆうちょ銀行	3,913,271		総務理事経費	8,800
定期預金	三井住友	11,300,000		学会賞費	20,746
				ウェブサイト運営費	39,600
			負債の部合計		3,008,992
			正味財産の部		
			科目		金額
			学会基金		7,280,000
			事業準備金		11,300,000
			当期剰余金		2,722,251
			正味財産の部合計		21,302,251
資産の部合計		24,311,243	負債・正味財産の部合計		24,311,243

2022年度次世代活性化基金決算(案)

2022年12月31日現在

(単位: 円)

1. 収入				2. 支出			
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
単年度合計	0	0		単年度支出	0	0	
前年度繰越	131,099	131,099		予備費	131,099	131,099	
合計	131,099	131,099		合計	131,099	131,099	


2.2 会計監査報告（案）


2023年3月2日

会計監査報告

日本農業気象学会
会長 平野 高司 殿

日本農業気象学会

監査 佐々木 華織 

監査 鮫島 良次 

日本農業気象学会 2022 年度（2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日）予算の執行に関し、福岡峰彦会計理事、深山貴文会計理事より提出された会計書類について、質疑応答を交えながら監査を実施した。その結果、帳簿類は正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認したことから、当該予算が適正に執行されていたものと認める。

以上

2.3 2023-2024 年度役員等選出（案）

1) 次期役員等名簿(敬称略)

会長 富士原和宏

副会長 荊木康臣, 広田知良

支部長 北海道：小南靖弘, 東北：伊藤大雄, 関東甲信越：横山 仁, 東海・北陸：嶋津光鑑,
近畿：青野靖之, 中国・四国：森 牧人, 九州：神田英司

理事(支部選出)

北海道：石郷岡康史, 東北：井上 聡（総務正）,
関東甲信越：彦坂晶子, 松田 怜, 吉本真由美（総務副）, 東海・北陸：谷 晃,
近畿：町村 尚, 中国・四国：植山秀紀（庶務正）, 九州：柴田昇平

理事(会長指名)

高木健太郎（編集委員長）, 程 為国（副編集委員長・和文誌編集委員長）,
西森基貴（和文誌副編集委員長）, 中野智子（編集）, 下田星児（編集）, 根本 学（編集）,
木村玲二（編集）, 福岡峰彦（会計正）, 伊川浩樹（会計副）, 中園 江（庶務副）,
岩田拓記（次世代活性化）, 熊谷悦史（次世代活性化）

学会賞審査委員会

青野靖之, 伊藤大雄, 大上博基, 大野宏之, 小沢 聖, 桑形恒男, 後藤英司, 下田星児,
谷 晃, 平野高司, 吉本真由美, 脇山恭行

編集委員会

高木健太郎, 程 為国, 西森基貴, 臼井靖浩, 吉田ひろえ, 野見山綾介, 高山成, 野村浩一,
谷 晃, 長谷川利拡, 広田知良, 石郷岡康史, 彦坂晶子, 斎藤 琢, 伊川浩樹, 寺本宗正,
中井太郎, 星加康智, 平田竜一, 松本一穂, 永野博彦, 山口昌弘, 滝本貴弘, 井上 誠,
佐合悠貴, 中嶋美幸, 北宅善昭, 北野雅治, 桑形恒男, 嶋津光鑑, 中野智子, 下田星児,
根本 学, 木村玲二

2) 顧問

北野雅治会員, 平野高司会員に委嘱する。

2.4 名誉会員（案）

内嶋善兵衛会員, 高倉直会員, 鈴木義則会員, 古在豊樹会員, 真木太一会員, 清野豁会員, 蔵田憲次
会員, 岡田益己会員, 大政謙次会員に加え, 小林和彦会員を名誉会員に推薦する。

2.5 2023 年度事業計画（案）

1) 学会活動の活性化

- (1) 会員数維持および学生会員獲得のための方策の検討および実施
- (2) 広報活動の促進のための方策の検討および実施
- (3) 学術誌の今後の方向性に関する検討

2) 2023 年全国大会および International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2023 の開
催：2023 年 3 月 16 日～18 日に山口 KDDI 維新ホールにて開催

3) 2023 年度総会の開催：2023 年 3 月 17 日に山口 KDDI 維新ホールで開催（対面を主としたハイブリッ
ド）

- 4) 2023 年度理事会の開催：オンライン（第 1 回理事会は拡大理事会として、2023 年 3 月 18 日に山口 KDDI 維新ホールで開催）
- 5) 学術誌「Journal of Agricultural Meteorology」の発行（第 79 巻 1 号～第 79 巻 4 号）
- 6) 学術誌「生物と気象」の発行（第 23 巻 1 号～第 23 巻 4 号）
- 7) 日本農業気象学会賞の審査および授与，表彰
- 8) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰
- 9) 日本農学賞等の候補者の推薦
- 10) 支部活動の推進（別表「支部活動予定（案）」の通り）
- 11) 研究部会および若手研究者の会の活動の推進（別表「研究部会活動予定（案）」の通り）
- 12) 日本農学会の活動を推進
- 13) 日本農業工学会の活動を推進
- 14) 農業環境工学系学会連盟の活動を推進
- 15) 日本学術会議関連の活動に協力
- 16) 日本地球惑星科学連合の活動を推進
- 17) 地理関連学会連合の活動に協力
- 18) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進
- 19) 受託研究の受け入れ
- 20) 国際会議出席者の推薦，国際研究交流，国際連携の推進
- 21) 次世代活性化のための事業の検討（次世代活性化基金による活動）
- 22) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

支部活動予定（案）

支部名・支部長	事務局もしくは連絡先	研究会・講演会・出版物	会員（2022年12月31日現在）
北海道支部 支部長：小南靖弘	〒060-8559 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究院 地域環境学分野 岡田啓嗣 jojo@env.agr.hokudai.ac.jp Tel: 011-706-2569	・北海道支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：開催地，日時は未定 ・「北海道の農業気象」第75号発行予定	正会員：35 学生・ポスドク会員：7 シルバー会員：5 購読会員：2 賛助会員：2 名誉会員：0 合計：51
東北支部 支部長：伊藤大雄	〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター 中嶋美幸 agmet_tohoku@ml.affrc.go.jp Tel: 019-643-3462	・東北支部大会（研究発表，総会）：開催地未定 ・「東北の農業気象」第67号発行予定	正会員：37 学生・ポスドク会員：1 シルバー会員：5 購読会員：7 賛助会員：0 名誉会員：1 合計：51
関東甲信越支部 支部長：横山仁	〒305-8506 つくば市小野川16-2 国立環境研究所 気候変動適応センター 岡田将誌 office@agrmet-kanto.jp Tel: 029-850-2721	・支部例会（研究発表，総会，シンポジウム）：開催地，日時は未定	正会員：164 学生・ポスドク会員：19 シルバー会員：6 購読会員：31 賛助会員：13 名誉会員：7 合計：240
東海・北陸支部 支部長：嶋津光鑑	〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学食品栄養科学部 環境生命科学科植物環境研究室 atani@u-shizuoka-ken.ac.jp Tel: 054-264-5739	・支部合同大会（日本農業気象学会東海・北陸支部，生態工学会中部支部，生物環境工学会東海支部）：研究発表，総会：2023年11月に静岡県で開催予定	正会員：29 学生・ポスドク会員：6 シルバー会員：0 購読会員：5 賛助会員：0 名誉会員：0 合計：40
近畿支部 支部長：青野靖之	〒599-8531 堺市中区学園町1-1 大阪府立大学生命環境科学研究科 遠藤良輔 endo_r@omu.ac.jp Tel: 072-254-9668	・支部大会（一般研究発表，総会など）：2023年11～12月，開催形式・開催地等未定。 ・「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」，第14号発行予定	正会員：30 学生・ポスドク会員：2 シルバー会員：3 購読会員：7 賛助会員：1 名誉会員：0 合計：43
中国・四国支部 支部長：森牧人	〒753-8515 山口市吉田1677-1 山口大学大学院創成科学研究科 佐合悠貴 sago@yamaguchi-u.ac.jp Tel: 083-933-5828	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2023年12月，高知県にて開催予定 ・「中国・四国の農業気象」第36号発行予定	正会員：46 学生・ポスドク会員：6 シルバー会員：0 購読会員：4 賛助会員：1 名誉会員：0 合計：57
九州支部 支部長：神田英司	〒802-0395 福岡市西区元岡744 ウェスト5号館 九州大学大学院農学研究院環境農学部門 安武大輔 yasutake@bpes.kyushu-u.ac.jp Tel: 092-802-4627	・支部大会（研究発表，セミナー，座談会，総会）：2023年11-12月，鹿児島県にて開催予定 ・「九州の農業気象Ⅱ輯」第32号発行予定	正会員：38 学生・ポスドク会員：3 シルバー会員：4 購読会員：9 賛助会員：1 名誉会員：1 合計：56

研究部会活動予定（案）

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
<p>園芸工学研究部会 部会長：松田 怜 設立：2006年6月</p>	<p>〒270-1194 千葉県我孫子市我孫子 1646 電力中央研究所 グリッドイノベーション研究本部 地子智浩 TEL: 070-5085-3697 Email: jishi@criepi.denken.or.jp</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業気象学会 2023年全国大会において、オーガナイズドセッション「施設園芸におけるAI・データサイエンスの利用」を主催する。
<p>若手研究者の会</p>	<p>〒666-8502 京都府京都市左京区北白川追分町 京都大学 農学研究科 坂部綾香 TEL: 075-753-6086 / FAX: 075-753-6088 E-mail: sakabe.ayaka.4a@kyoto-u.ac.jp 金谷真希（農研機構 北海道農業研究センター） 横山岳（九州大学 農学研究科）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本農業気象学会 2023年全国大会において、若手会セミナー「若手研究者による異分野間の共同研究に向けて」を企画している。 ・ホームページの管理・運営 (http://www.agrmet.jp/wakate/)。 ・メーリングリストの管理・運営。

2.6 2023年度一般会計予算（案）

2023年度一般会計予算（案）

(単位: 円)

1. 収入		
科目	予算	備考
学会費	4,269,000	人数・件数は当年度当初
正会員	3,026,000	¥8,500×356名(終身会費納入済18名を除く)
正会員(終身会費納入済)	0	¥0×18名
シルバー会員	115,000	¥5,000×23名
学生・ポスドク会員	76,000	¥2,000×38名
購読会員	512,000	¥8,000×64件
賛助会員	540,000	¥30,000×18件
名誉会員	0	¥0×9名
海外特別会員	0	¥0×70件
寄贈	0	¥0×20件
売上金	2,392,000	
掲載料・別刷・超過頁等	2,392,000	直近3年度実績、2020,2021年度分は2022年度の掲載料改定の効果を加味
バックナンバー等	0	
雑益	947,879	
利息	200	前年度実績
複写権利等	147,679	2022年度分として通知のあった額
学会基金取崩収入	0	
その他	800,000	CIGR世界大会2022からの協賛金の返金
単年度合計	7,608,879	
前年度繰越金	2,722,251	
合計	10,331,130	

2. 支出		
科目	予算	備考
学会誌発行業務	4,738,000	
印刷・製本・別刷り費	3,650,000	「JAM」・「生物と気象」直近3年度実績に余裕分3%加算
発送費	250,000	直近3年度実績に余裕分9%加算
編集費	660,000	
編集委員会経費	52,000	旅費・事務費等
J-stage査読システム	66,000	システム利用料
トクゾロイター社アップデート	44,000	¥11,000×4号
英文校閲費	16,000	
学会大会費	600,000	
全国大会運営費	400,000	2024年度大会準備金
農業環境工学関連学会2023年合同大会運営費	200,000	前回2020年度負担分実績
学会賞費	50,000	
記念品費・交通費等	50,000	
名誉会員表彰費	0	
懇親会費・交通費等	0	今年度執行予定なし
事務委託費	1,403,000	前年度実績
会員管理業務	406,000	会員管理費¥560×564件・会誌発送料等
会計業務	264,000	月額¥20,000×12月 他
受付業務	198,000	月額¥15,000×12月 他
その他業務	535,000	連絡用紙・封筒・案内状作成等
ウェブサイト運営費	40,000	
学会ウェブサイト維持費	20,000	サーバーおよびドメイン管理費等
学会誌(JAM)ウェブサイト維持費	20,000	サーバーおよびドメイン管理費等
事務費	102,000	
理事会開催費	20,000	オンライン予定のため抑制
総務理事経費	32,000	郵送、オンライン会議・総会経費等
庶務理事経費	10,000	事務雑費
会計理事経費	40,000	振込手数料等
支部・研究・渡航補助費	455,900	
支部補助費	305,900	¥700×437人(当年度当初の国内個人会員数)
若手研究者の会補助費	50,000	
渡航費補助	100,000	
関連団体分担金	131,850	
日本地球惑星科学連合	10,000	団体会員会費
日本農学会費	56,850	分担金
日本農業工学会費	65,000	正会員会費
単年度支出	7,520,750	
予備費	752,000	支出の約10%相当
合計	8,272,750	

単年度収入合計	7,608,879
単年度支出合計	8,272,750
単年度収支差異	-663,871
前年度繰越金	2,722,251
剰余金	2,058,380

2023年度次世代活性化基金予算（案）

(単位: 円)

1. 収入		
科目	予算	備考
単年度合計	0	
前年度繰越	131,099	
合計	131,099	

2. 支出		
科目	予算	備考
単年度支出	0	
予備費	131,099	
合計	131,099	

2.7 会則の改正（案）

提案に係る経過

- ・2022年9月27日（2022年度第3回理事会）：会員の高齢化等により終身会費制度は学会財政上の大きな負担となる可能性があることから、終身会費制度の廃止と、経過措置として終身会費制度準備金を新設して学会基金の一部を移して将来の費用に備えることが提案され、次回理事会でさらに審議し結論を出すこととなった。
- ・2022年12月12日（2022年度第4回理事会）：終身会費納入済の正会員についての今後の所要見積額が正会員年会費を基礎額として示されたが、コストベースで算出し、MLにてさらに検討することとなった。移行措置として、現在の終身会費についての今後の所要見積額を、学会基金から「終身会費制度準備金」として留保することが併せて提案された。所要見積額として、現在の終身会費21名について算出した「Σ平均余命（年）×正会員会費（年額）×安全率1.5」の合計の約336万円が示された。この移行措置もMLにてさらに検討することとなった。
- ・2023年3月7～11日（理事会メール審議）：会員1件あたりの学会運営経費負担額が、コロナ禍で活動を抑制した2022年度の実績でも約7,000円であったこと、コロナ禍より前の活動を再開する場合には追加で約884円を要することを踏まえ、今後の所要見積の基礎額を正会員会費とすることが概ね妥当であることが示された。また、終身会費納入済正会員から名誉会員へ3名の異動があったことから、現在の終身会費18名および名誉会員9名について所要見積額を前出の式で再計算した結果、合計が約374万円となることが示された。これらを承けて、終身会費制度を廃止する会則の改正案が提案され、総会で審議を行うことが承認された。また、移行措置として、貸借対照表の正味財産の部に「終身会費制度等準備金」を新設するとともに、学会基金から終身会費制度等準備金に所要見積額を取り分け、終身会費納入済正会員および名誉会員に係る学会運営経費の後年度負担に充当するための原資として管理することが提案され、総会で審議を行うことが承認された。

会則の改正の内容

- ・終身会費制度を廃止する。

改正前	改正後
<p>第4章 会員</p> <p>第8条（会員）本学会の会員は正会員，シルバー会員，学生・ポストドク会員，購読会員，賛助会員，海外特別会員および名誉会員とする。</p> <p>2. 正会員は本学会の趣旨に賛同して入会する個人とする。</p> <p>シルバー会員は満60歳以上で，会則第11条に定める役員および第22条1に定める各委員会の委員に就任しない旨を本学会に届け出た者とする。</p> <p>学生・ポストドク会員は，大学等に在学中の学生，大学院生等，または国内在住の博士号を有する雇用契約1年以内の個人で，指導教員や雇用責任者の身分証明を受けた者とする。</p> <p>購読会員は学術誌の購読を目的として入会す</p>	<p>第4章 会員</p> <p>第8条（会員）本学会の会員は正会員，シルバー会員，学生・ポストドク会員，購読会員，賛助会員，海外特別会員および名誉会員とする。</p> <p>2. 正会員は本学会の趣旨に賛同して入会する個人とする。</p> <p>シルバー会員は満60歳以上で，会則第11条に定める役員および第22条1に定める各委員会の委員に就任しない旨を本学会に届け出た者とする。</p> <p>学生・ポストドク会員は，大学等に在学中の学生，大学院生等，または国内在住の博士号を有する雇用契約1年以内の個人で，指導教員や雇用責任者の身分証明を受けた者とする。</p> <p>購読会員は学術誌の購読を目的として入会す</p>

<p>る団体、機関とする。 賛助会員は本学会の事業を賛助する目的で入会する団体とする。 海外特別会員は本学会の海外での普及促進を図るため、会員が推薦し、理事会で認めた外国在住の者とする。 名誉会員は農業気象学の進歩に著しい貢献をした正会員およびシルバー会員の中から、理事会が推薦し、総会で承認された者とする。</p> <p>3. 正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員および賛助会員は下記に定めた会費（年額）を前納しなければならない。 正会員 8,500 円 シルバー会員 5,000 円 学生・ポスドク会員 2,000 円 購読会員 8,000 円 賛助会員は1口 30,000 円を1口以上。</p> <p>4. <u>正会員として20年以上の会員歴を有する59歳以上の会員は、終身会費として70,000円を払い込むことにより、以降の会費を支払うこと無く正会員の特典を得ることができる。なお、59歳以上で支払った会費は、終身会費を上限としてその額から控除される。</u></p> <p>5. 正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員および名誉会員は外国在住の会員を除き、細則2に定めた区域ごとの支部のいずれかに所属するものとする。</p> <p>第10章 付 則</p> <p>第27条（施行期日） この会則は <u>2022</u> 年度から施行する。</p>	<p>る団体、機関とする。 賛助会員は本学会の事業を賛助する目的で入会する団体とする。 海外特別会員は本学会の海外での普及促進を図るため、会員が推薦し、理事会で認めた外国在住の者とする。 名誉会員は農業気象学の進歩に著しい貢献をした正会員およびシルバー会員の中から、理事会が推薦し、総会で承認された者とする。</p> <p>3. 正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員および賛助会員は下記に定めた会費（年額）を前納しなければならない。 正会員 8,500 円 シルバー会員 5,000 円 学生・ポスドク会員 2,000 円 購読会員 8,000 円 賛助会員は1口 30,000 円を1口以上。 (削除)</p> <p>4. 正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員、購読会員および名誉会員は外国在住の会員を除き、細則2に定めた区域ごとの支部のいずれかに所属するものとする。</p> <p>第10章 付 則</p> <p>第27条（施行期日） この会則は <u>2024</u> 年度から施行する。</p>
---	--

2.8 貸借対照表における「終身会費制度等準備金」の新設（案）

提案に係る経過

2.7に記載の通り。

提案の内容

- ・貸借対照表 正味財産の部に「終身会費制度等準備金」を新設する。
- ・終身会費納入済正会員および名誉会員に係る学会運営経費の後年度負担額に充当するための原資として、次式で所要額を見積もり、貸借対照表において当該額を学会基金から終身会費制度等準備金に移して用途を予約する。

$$\Sigma \text{平均余命（年）} \times \text{正会員会費（年額）} \times \text{安全率} 1.5 \quad \dots \dots (a)$$

注）平均余命は最新の「厚生労働省簡易生命表（男女別）」を用いる。

注）安全率は、平均より長命の場合や物価上昇等に備えて多めに引き充てるための係数である。

なお、2023年度当初に在籍する正会員（終身会費納入済）18名および名誉会員9名の個人について、2024年度時点での所要額を計算すると、3,743,662円（138,654円/人）となる。

参考：毎年度の決算および予算編成時における終身会費制度等準備金関連の想定オペレーション

- ① 決算時に、異動を反映した会員リストおよび最新の厚生労働省簡易生命表を用いて、(a)式により、決算対象年度の次々年度時点での必要額の再計算を行う。再計算された必要額が前年度決算時の終身会費制度等準備金の額より少ない場合には、残余を終身会費制度等準備金から基金に移す（用途の予約を解除）。一方、再計算された額が前年度決算時の終身会費制度等準備金の額より多い場合には、不足額を基金や剰余金から終身会費制度等準備金に移して補充する（用途を予約する額が増加）。
- ② 予算編成において収入が不足する場合には、必要に応じて「正会員会費×終身会費を納めた会員および名誉会員の人数」で計算される額を終身会費制度等準備金から取り崩し、一般会計の「収入－雑益費－終身会費制度等準備金取崩収入」に組み入れる。
- ③ それでもなお、予算編成において収入が不足する場合には、必要額を基金から取り崩し、一般会計の「収入－雑益費－基金取崩収入」に組み入れる。